

府中町人口ビジョン

平成 27 年 10 月
府中町

－ 目 次 －

はじめに	2
(1) 府中町人口ビジョンの位置づけ		
(2) 対象期間		
 1. 人口の現状分析		
ア. 人口動向分析		
(1) 府中町人口のこれまでの動向	3
(2) 転入・転出	7
(3) 出生・死亡	9
(4) 産業と人口の関係	10
イ. 将来人口の推計と分析	12
ウ. 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察	13
 2. 人口の将来展望		
ア. 将来展望に必要な調査・分析		
(1) 出生率について	15
(2) 転入出について	17
イ. 目指すべき将来の方向	20
ウ. 人口の将来展望	22
 (参考 1) 何も対策を講じなかった場合の人口推計		
(参考 2) 「国の長期ビジョンより 10 年早いペースでの出生率回復」と「子育 て世代の転入出差年間 +30 世帯」を実現した場合の人口推計		
(参考 3) 人口推計に用いた各種基礎率		

はじめに

（1）府中町人口ビジョンの位置づけ

日本の人口は 2008 年（平成 20 年）を境に減少局面に入っており、このままでは 2040 年代頃には毎年 100 万人程度の減少スピードにまで加速し、人口減少が経済社会に対して大きな悪影響を及ぼすことが懸念されています。こうした背景の下、まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）が公布され、同法第 10 条では国が策定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「国戦略」とします。）を勘案して、市町村も「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「市町村戦略」とします。）を定めるよう努めなければならないこととされました。2014 年（平成 26 年）12 月 17 日に国戦略が閣議決定されましたが、これと同時に日本全体の人口の将来展望を示す「長期ビジョン」が閣議決定され、国戦略のなかでは、『各地方公共団体は、国の「長期ビジョン」と「総合戦略」を勘案し、遅くとも 2015 年度（平成 27 年度）中に、中長期を見通した「地方人口ビジョン」と 5 か年の「地方版総合戦略」を策定し実行するよう努めるものとする。』とされました。

府中町人口ビジョンは、この「地方人口ビジョン」として策定するものであり、人口を切口として府中町の現状を明らかにするとともに中長期の人口見通しを示し、同時に策定する市町村戦略とあいまって目指すべき将来の方向を示すものです。

（2）対象期間

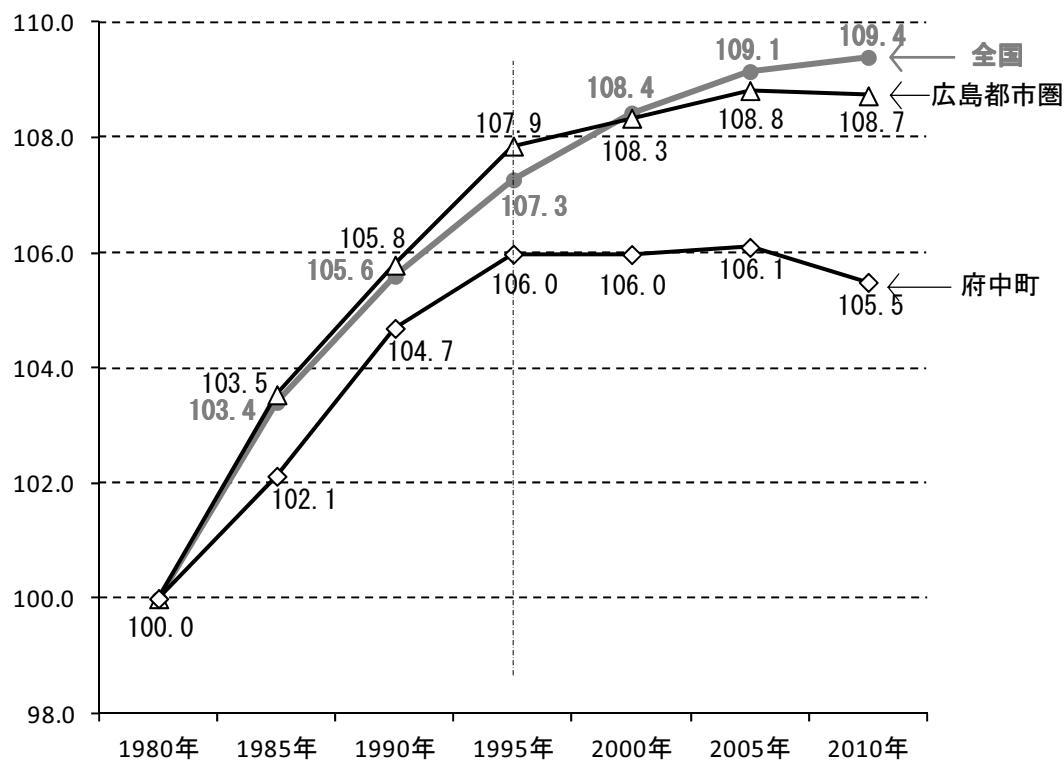
国の「長期ビジョン」は 2060 年（平成 72 年）までを対象としており、これにあわせて府中町人口ビジョンも 2060 年（平成 72 年）までを対象期間とします。

1. 人口の現状分析

ア. 人口動向分析

(1) 府中町人口のこれまでの動向

国勢調査の結果によれば、府中町の人口は1995年（平成7年）までは増加傾向にありました。その後横ばいの状況となっています。府中町は広島都市圏の構成地域ですが、ここでは国勢調査の広島大都市圏（広島市、呉市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、岩国市、和木町）を広島都市圏としてみると、同じく1995年（平成7年）までは大きな増加傾向にありますが、その後増加傾向が小さくなっています。傾向は府中町と広島都市圏は似通っていますが、30年前を100とした場合の2010年（平成22年）の人口は、府中町が105.5、広島都市圏が108.7であり、増加幅は府中町の方が小さくなっています。

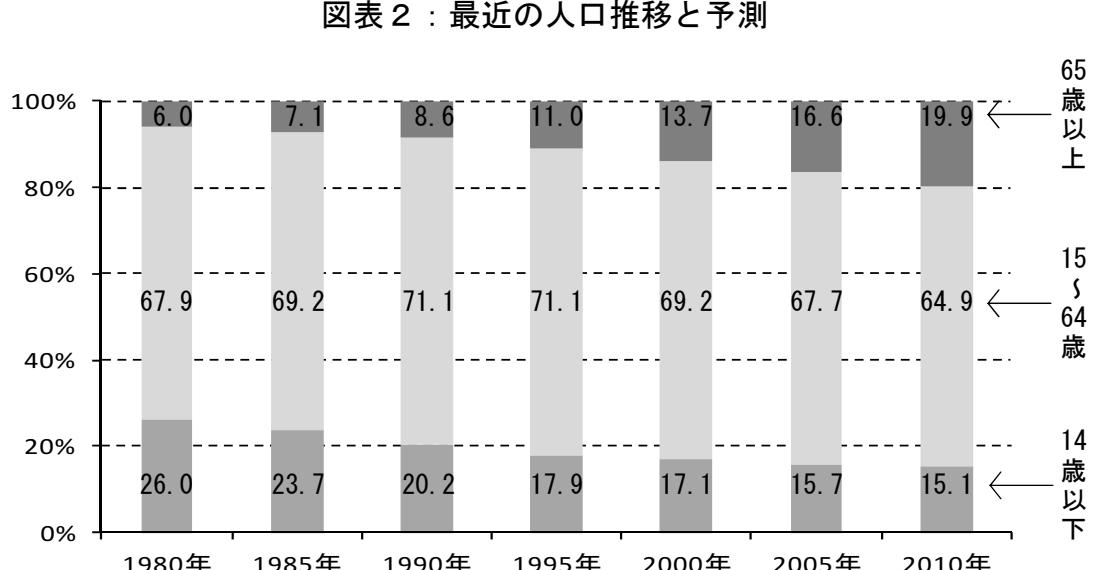
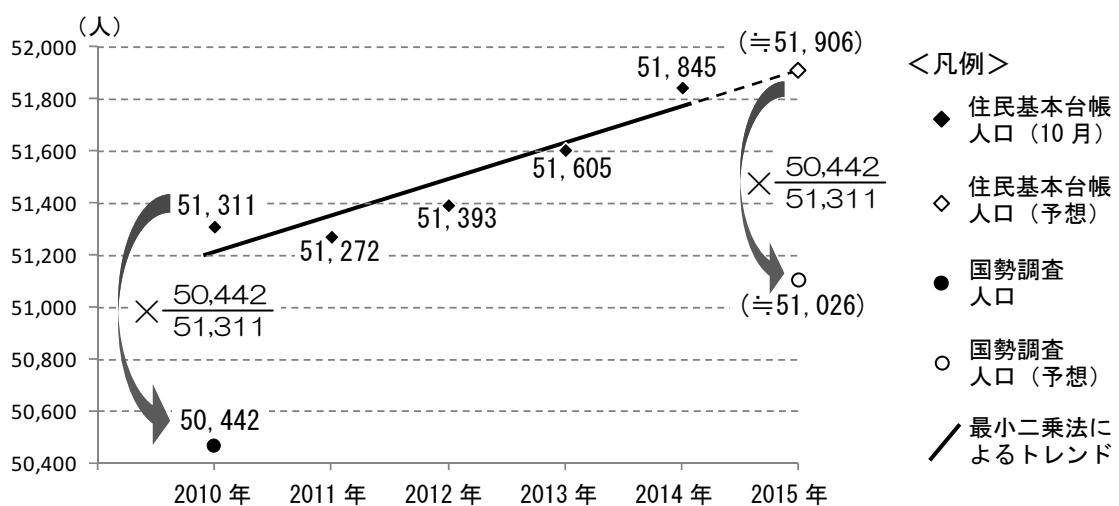


注) 国勢調査人口を1980年を100として整理。広島都市圏は、広島市、呉市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸郡、山県郡、岩国市、和木町の合計人口。

図表1：人口の推移

一方、全国の人口は、30年かけて徐々に増加幅を縮小させながら2010年（平成22年）まで増加傾向が続いており、府中町や広島都市圏のような1995年（平成7年）頃からの傾向変化は見られません。1995年（平成7年）頃と言えば、バブル崩壊の時期であり、その後長期にわたって経済の低迷が続きますが、府中町を含む広島都市圏では、その影響を大きく受けた人口推移を辿ったものと考えられます。

なお、国勢調査は今年10月に実施されますが、ここ5年間の住民基本台帳移動報告では、毎年10月の府中町人口は増加傾向にあり、国勢調査でも人口が若干増加して51,026人程度になると予想されます。



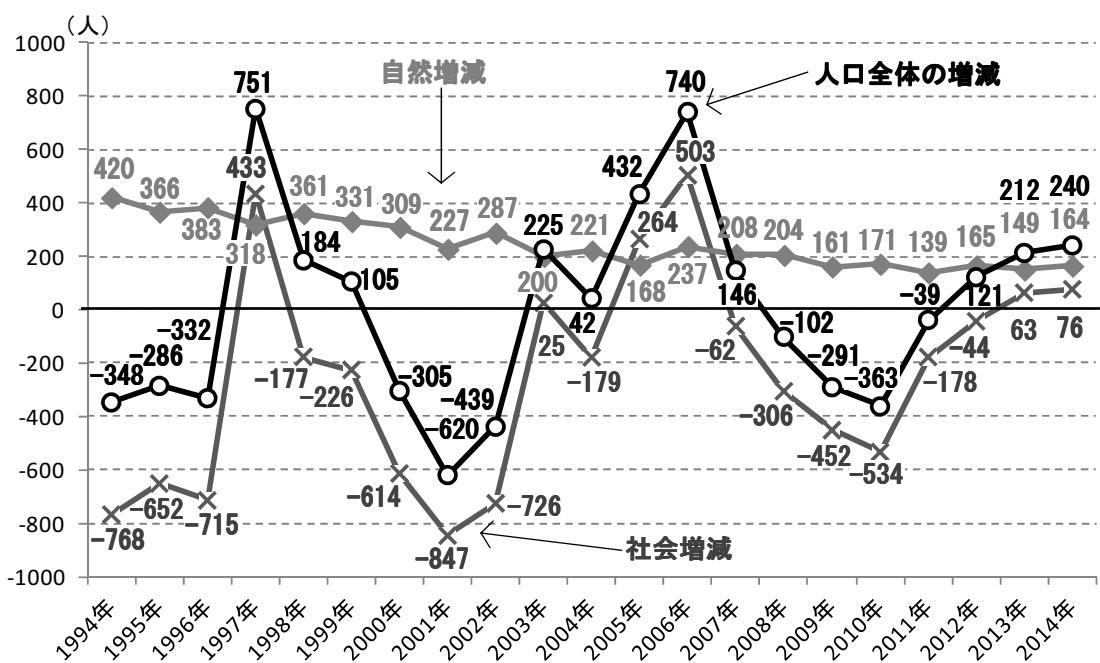
注) 国勢調査より。

図表3：年齢区分別人口割合の推移

また、この30年間で14歳以下は26.0から15.1%に、65歳以上は6.0

から 19.9% になっており、府中町では少子高齢化が急激に進行しています。

人口の増減は、転入と転出による社会増減と、出生と死亡による自然増減によって生じることになります。広島県人口移動統計調査によれば、府中町では自然増減は増加が続いているのですが、社会増減は増加と減少を繰り返す状況となっており、自然増減と社会増減を合わせた人口全体の推移も、社会増減の影響を大きく受けて増加と減少を繰り返す状況となっています。自然増減をみると増加幅は縮小傾向にあり、社会増減をみると増加する年もありますが、それが続くことは少なく、全体としてみれば、減少傾向にあると言えます。その結果、自然増を社会減が打ち消して人口が増加しない状況が続いてきたと言えます。



注) 広島県「人口移動統計調査」より。各年 10 月 1 日時点での直前 1 年間の増減を集計。

図表 4 : 自然増減と社会増減の推移

人口の自然増をもたらす 20~39 歳の女性に着目すると、府中町ではこれに該当する女性数は減少が続いている。第 2 次ベビーブーム生まれの女性が 20~39 歳期間を終え、かわってこの期間に入る女性は少ないため生じている現象で、当面はこれが続くものと考えられます。一方で前年の 19~38 歳の女性との比較ではプラスになっており、この世代の女性は転入超過が多く生じていると考えられます。この世代の女性の出産が自然増を

もたらす中心ですので、つまり、府中町の人口の自然増は 20～39 歳の女性の転入によって支えられており、社会移動によって人口全体の減少スピードが緩和されている状況にあると言えます。

区分	H23.4.1	H24.4.1	H25.4.1	H26.4.1	H27.4.1	(人)
19歳	239	243	253	231	259	
20歳	239	233	240	241	229	
21歳	253	248	239	248	244	
22歳	242	269	243	232	237	
23歳	270	247	264	238	225	
24歳	251	259	268	263	239	
25歳	280	262	262	267	256	
26歳	309	284	261	279	279	
27歳	312	316	301	276	280	
28歳	310	328	320	320	285	
29歳	294	315	342	328	346	
30歳	319	306	315	334	339	
31歳	340	329	306	322	351	
32歳	349	355	341	306	327	
33歳	345	343	350	347	321	
34歳	346	345	348	358	347	
35歳	421	343	352	344	367	
36歳	399	419	338	355	347	
37歳	410	391	420	338	363	
38歳	479	392	397	408	339	
39歳	429	482	405	397	413	

A:19～38歳	6,407	6,227	6,160	6,035	5,980
B:20～39歳	6,597	6,466	6,312	6,201	6,134

※1 B(n年)－A(n-1年)	-	59	85	41	99
※2 B(n年)－B(n-1年)	-	△ 131	△ 154	△ 111	△ 67

※ 1) 20～39 歳の女性数と前年の 19～38 歳女性数との比較。19～38 歳の女性が一年後にどのように増減したのかを示す。プラスであれば、転入超過が生じていることになる。

※ 2) 20～39 歳の女性数の前年との比較。

注) 各値は住民基本台帳人口より。

図表 5 : 20～39 歳の女性数の推移

(2) 転入・転出

2013年（平成25年）の住民基本台帳移動報告によると、それぞれ年間2千人超の府中町への転入、府中町からの転出があります。転入元・転出先の地域を、広島都市圏、東京・大阪・名古屋・福岡といった広島より規模が大きいと言われる都市圏（ここでは埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、愛知県、福岡県の各都府県の地域とし、以下、「東京等大都市圏」とします。）、その他の地域に3区分すると、概ね6:2:2の規模となっており、規模では広島都市圏内の転入出しが大きいと言えます。

3地域全体で105人の転出超過となっていますが、東京等大都市圏の転出超過が97人と大きく、他の2地域を圧倒しています。特に15~19歳の進学期が24人、20~24歳の就職期が47人と、大きな転出超過が生じています。

図表6：2013年（平成25年）の転入出の状況

	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~74歳	75歳以上	合計
--	------	------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	----

広島都市圏（広島市・呉市・大竹市・東広島市・廿日市市・安芸高田市・江田島市・安芸郡・山県郡・岩国市・和木町）

転入	124	43	17	47	153	306	227	146	91	40	20	18	32	32	31	1,327
転出	143	45	17	43	146	249	224	125	87	54	35	29	22	40	49	1,308
差	▲19	▲2	0	4	7	57	3	21	4	▲14	▲15	▲11	10	▲8	▲18	19

東京等大都市圏（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・愛知県・福岡県）

転入	41	25	8	6	49	71	62	53	32	13	15	15	7	0	2	399
転出	45	26	21	30	96	75	60	45	26	25	13	9	4	12	9	496
差	▲4	▲1	▲13	▲24	▲47	▲4	2	8	6	▲12	2	6	3	▲12	▲7	▲97

その他の地域

転入	41	15	10	20	83	57	47	46	28	25	12	6	3	6	16	415
転出	44	26	9	19	75	54	52	63	31	19	12	8	14	11	5	442
差	▲3	▲11	1	1	8	3	▲5	▲17	▲3	6	0	▲2	▲11	▲5	11	▲27

合計

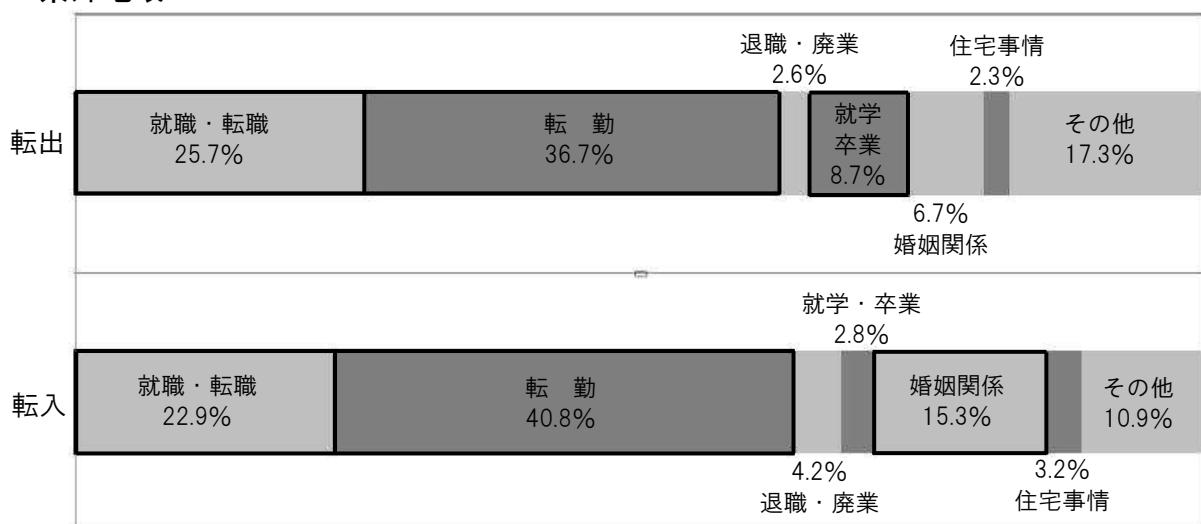
転入	206	83	35	73	285	434	336	245	151	78	47	39	42	38	49	2,141
転出	232	97	47	92	317	378	336	233	144	98	60	46	40	63	63	2,246
差	▲26	▲14	▲12	▲19	▲32	56	0	12	7	▲20	▲13	▲7	2	▲25	▲14	▲105

注) 住民基本台帳人口移動報告（平成25年）より。

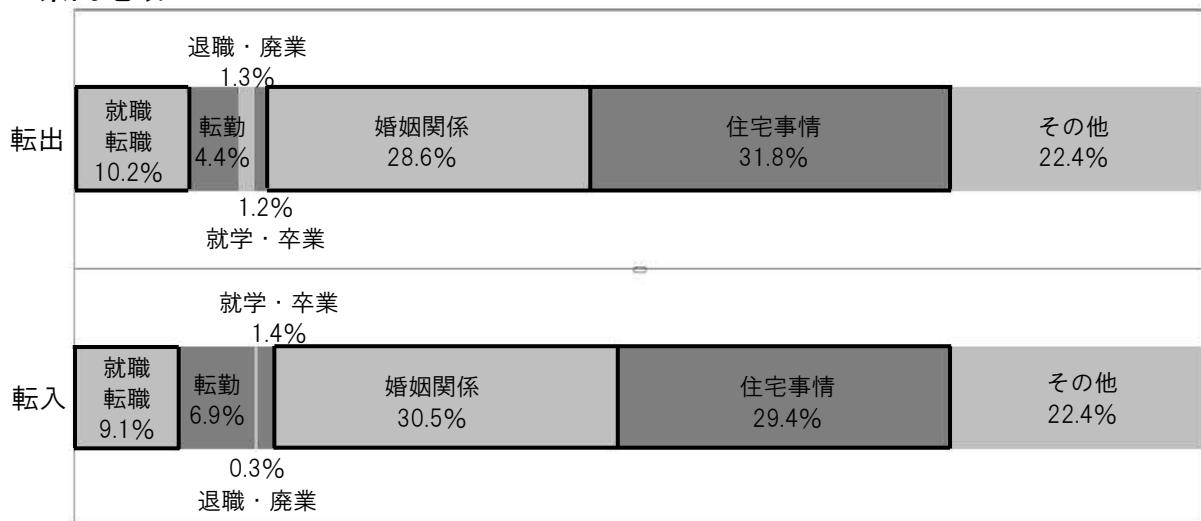
一方、広島都市圏との転入出は、20～39歳の子育て世代で88人と大きく転入超過となっており、また、この世代は転入数・転出数とも他の世代に比べて大きく、府中町の人口移動の特徴となっています。

転入出の理由をみると、県外地域には就職・転職や転勤といった仕事上の都合による転入出者が多いのに対して、県内地域には婚姻関係や住宅事情といった家庭の都合による転入出者が多くなっています。府中町の人口移動の特徴である広島都市圏内の子育て世代の転入出は、「子育て」を念頭に置いた移動であることが伺えます。

県外地域



県内地域

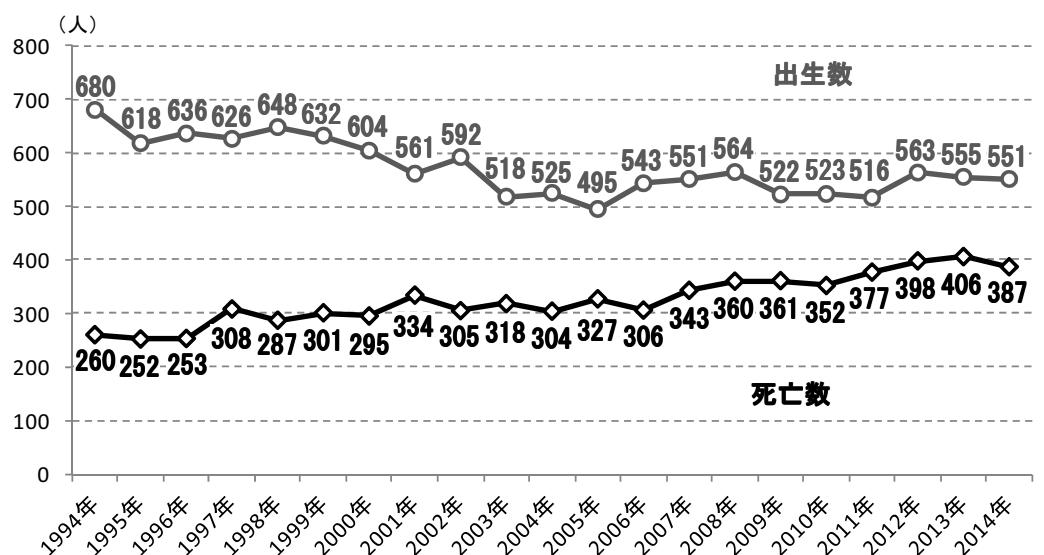


注) 人口移動統計調査(平成26年)より。

図表7：転入出の理由

(3) 出生・死亡

少子高齢化に伴い府中町でも全国的な傾向と同様で出生数は増えず、死亡数が増える傾向にあります。このため、その差の自然増減の増加幅の縮小が続いている状況です。一方で、合計特殊出生率も全国的な傾向と同じく最低の時期を脱し、回復傾向にあります。国が「長期ビジョン」を示した時点での最新のデータだった2013年（平成25年）の全国の合計特殊出生率は、2008～2012年（平成20～24年）の期間合計特殊出生率と比べて+0.05ポイントでした。府中町の2008～2012年（平成20～24年）の期間合計特殊出生率は1.65であったので、全国の値と同様にそこから+0.05ポイントと考えれば、現在の府中町の合計特殊出生率は1.70に近いものと考えられ、当面は出生数が大きく減少することはないだろうと期待できます。しかし、人口置換水準といわれる2.07には遠く、このことで人口が安定する、もしくは増加傾向に転換できると楽観視することはできません。



注) 広島県「人口移動統計調査」より。各年10月1日時点での直前1年間の出生数と死亡数。

図表8：出生数と死亡数の推移

図表9：合計特殊出生率の推移

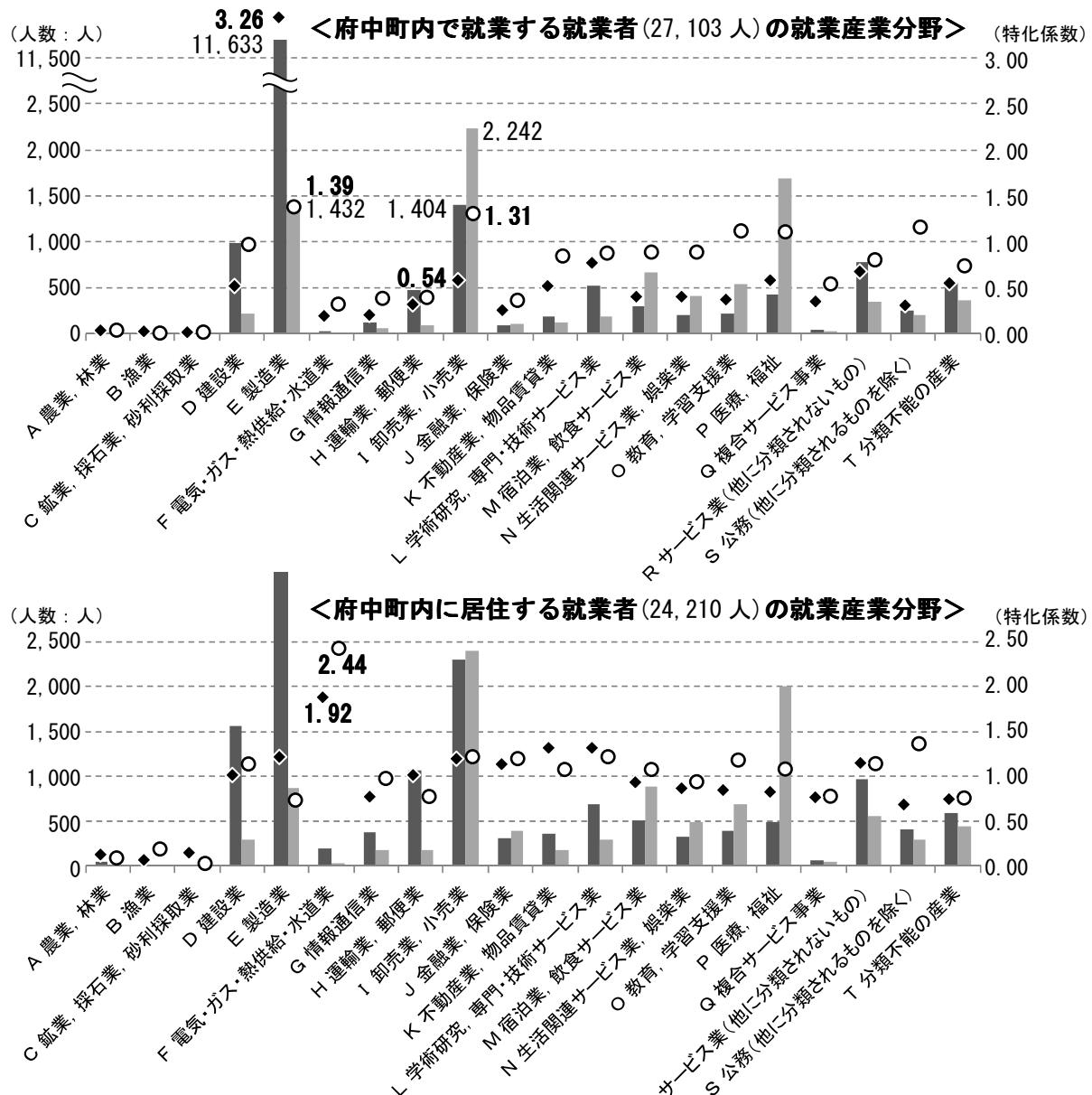
	平成10～14年	平成15～19年	平成20～24年	平成25年
府中町	1.55	1.48	1.65	(=1.70)
全国	1.36	1.31	1.38	1.43

→(+0.05)→

注) 人口動態保健所・市区町村別統計より。

(4) 産業と人口の関係

府中町内で就業する就業者は、製造業の就業者が圧倒的に多く、全産業就業者数に占める製造業就業者数の割合は、男性で全国平均の 3.26 倍、女性も 1.39 倍と、製造業に特化した地域であると言えます。次いで特徴的な分野は卸売・小売業の女性が全国平均の 1.31 倍となっています。大規模な工場や小売施設の存在が大きな雇用を生み出し、地域の特徴となっていると言えます。



注) 平成 22 年国勢調査より。特化係数は、府中町の当該産業の就業者比率を、全国の当該産業の就業者比率で除した値。

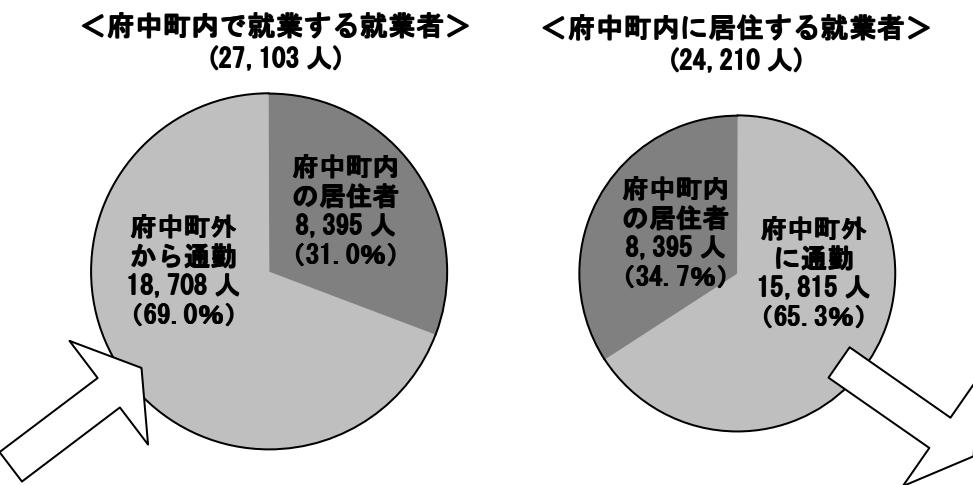
＜凡例＞
 男性特化係数 → 女性特化係数
 男性就業者数 → 女性就業者数

図表 10：府中町内就業者と府中町内居住者の就業産業分野

一方、府中町内に居住する就業者をみると、製造業や卸売・小売業の人が多くなっていますが、全国平均に比べて突出しているわけではありません。唯一「電気・ガス・熱供給・水道業」の割合が全国平均に対して男性で1.92倍、女性で2.44倍と高くなっていますが、これはその分野の企業の社宅が町内に存在していることに起因するものと考えられます。これと農業・漁業・鉱業等を除けば、どの分野も全国平均に近い状況であると言えます。

就業地でみた場合と居住地でみた場合で大きな違いが生じるのは、府中町では就業者が周辺市町村と間で激しく出入りしていることを表しています。府中町内に居住する就業者の約3分の2は、町外に出て働いています。また、府中町内で就業する就業者も、約3分の2は町外に住んでいる人です。

こうしたことから、地域の人口は産業が生み出す雇用によって構成されるという考え方がありますが、府中町ではそうした関係性が他地域と比較して小さいと言えます。また、就業者の出入りで言えば流入超過であり、府中町は「しごと」がないから人口が増えなくなったとは言えないものと考えられます。

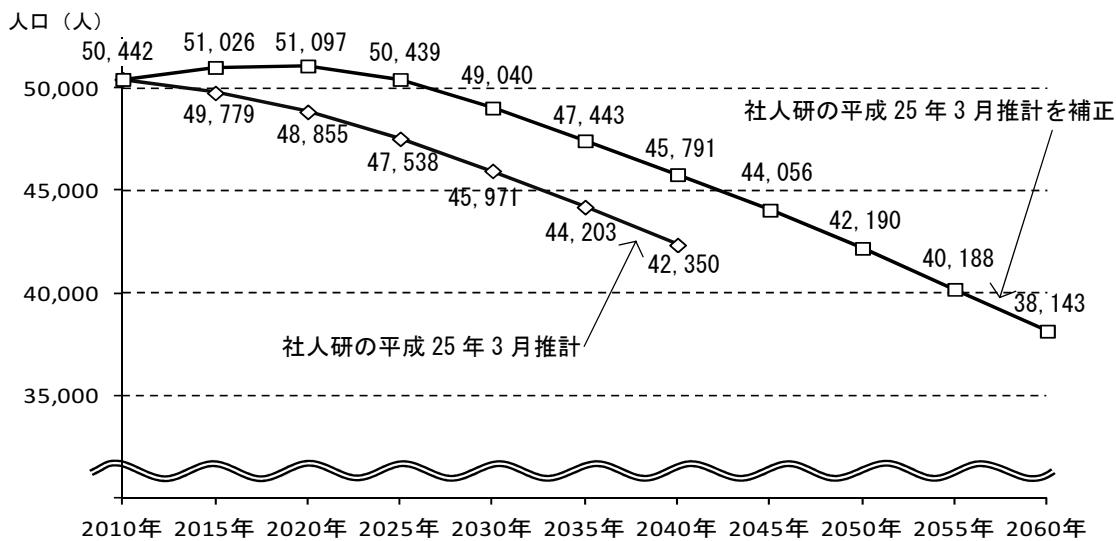


注) 平成22年国勢調査より。

図表11：就業者の出入り

イ. 将来人口の推計と分析

既存の府中町の将来人口推計に、独立行政法人国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」とします。）の2013年（平成25年）3月推計があります。この推計では、府中町の人口は2010年（平成22年）の50,442人から今年10月に行われる国勢調査では49,779人に減少するだろうと予測されています。ところが、ここ5年間の住民基本台帳登録数は増加傾向であり、その傾向が続ければ今年10月の国勢調査では府中町人口は51,026人程度に増加するものと予想されます。このため、最近のデータから出生率を嵩上げした上で、2015年（平成27年）の人口が51,026人になるよう移動率を嵩上げして社人研推計を補正しました。さらに、2040年（平成52年）までであった推計期間を2060年（平成72年）まで延長して推計すると、2060年（平成72年）に府中町の人口は38,143人にまで減少すると推計されます。これが何も対策を講じなかった場合の府中町の人口推計であり、2020年（平成32年）ごろをピークに減少傾向に移行し、そのまま減少し続けることになります。



注) 国が「長期ビジョン」を示した時点で最新のデータだった平成25年の全国の合計特殊出生率は1.43であり、人口動態保健所・市町村別統計による平成20~24年の期間合計特殊出生率1.38と比べて+0.05ポイントであった。府中町の平成20~24年の期間合計特殊出生率は1.65であったため、全国の値と同様にそこから+0.05ポイントと考え、現在の府中町の合計特殊出生率は1.70程度と仮定した。

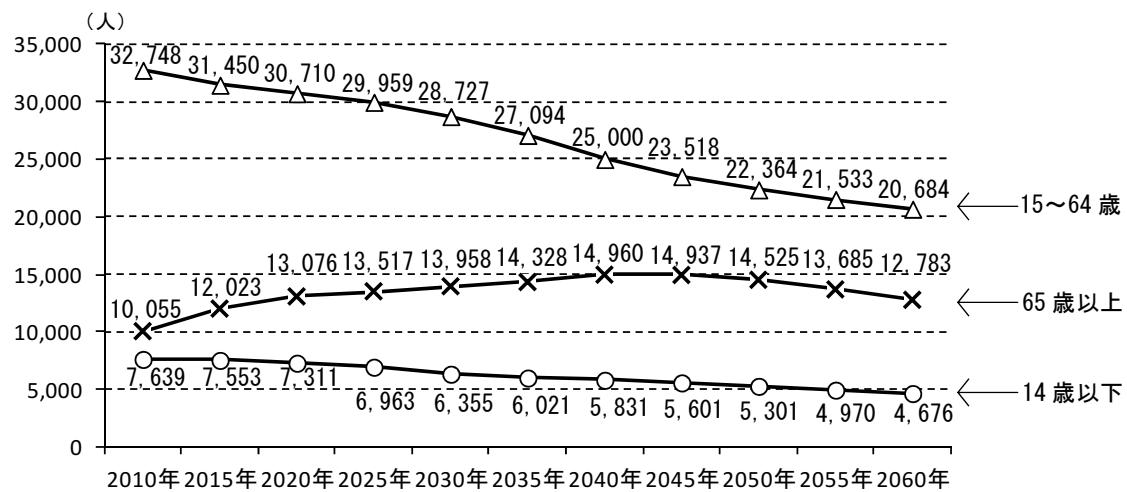
社人研の平成25年3月推計では、2015年の府中町の出生率は1.50010762006464とされており、この差分(+0.19989237993536)の嵩上げを2060年まで実施して補正した。

さらに、2015年の人口が、住民基本台帳登録数のトレンドによる2015年10月時点の予想値である51,026人に一致するよう移動率の嵩上げ(+0.017831185638)を行い、区画整理地区内のマンション建設等を考慮して2020年まではその8割、2025年まではその半分の移動率嵩上げを行って国の推計を補正した。

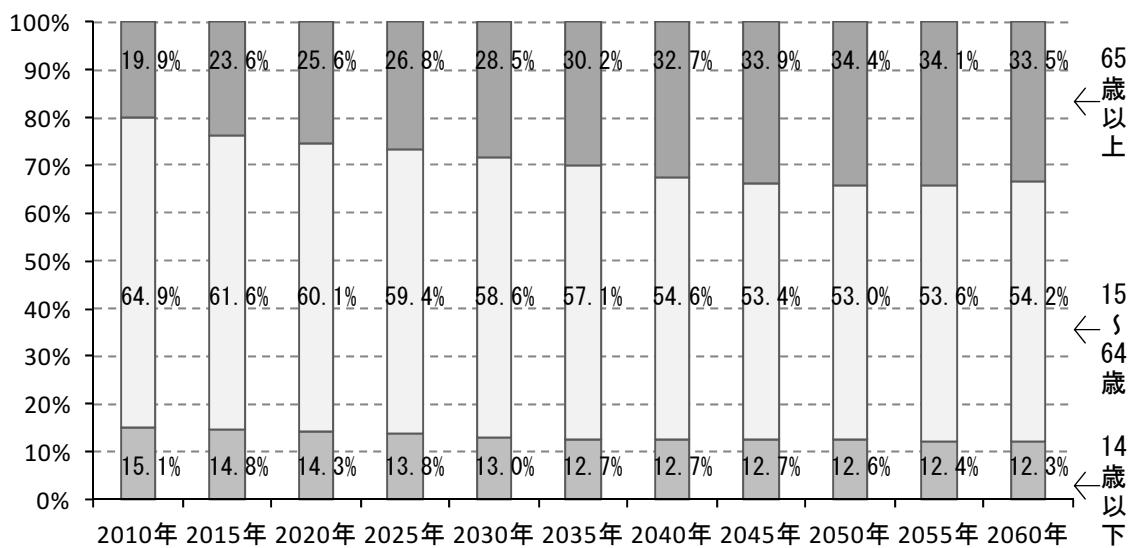
図表12：このまま何も対策を講じなかった場合の府中町の将来人口推計

ウ. 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察

府中町の将来人口推計結果を、年齢3区分別にみると、15～64歳までの生産年齢人口は減少し続け、2060年（平成72年）には20,684人になり、65歳以上の高齢者は2040年（平成52年）の14,960人まで増加が続き、その後減少することになります。また、割合でみると2050年（平成62年）に15～64歳までの生産年齢人口は53.0%、65歳以上の高齢者は34.4%になり、最も多くの高齢者を少ない生産年齢人口で支える状況になります。



図表13：府中町の将来人口推計の年齢3区分別結果



図表14：府中町の将来人口推計結果の年齢3区分別割合

生産年齢人口が減少し続けるということは、地方公共団体の税収も減少することになるものと考えられます。一方で、例えば道路や下水道といった施設のように、人口が減少したからといって施設を廃止して維持管理費や補修費などを軽減させることが難しい施設を地方公共団体は多く管理・運営していることから、税収の減少を補う支出の削減ができず、厳しい財政運営となり、他の行政サービスを大きく低下させざるを得なくなることが懸念されます。

また、高齢者割合の増加により、医療や介護の費用負担が増加し、地方公共団体の財政を逼迫させ、その結果、保険料や税金の引き上げにより住民負担を増大せざるを得なくなることが懸念されます。

こうした地方公共団体の財政面の問題が生じる場合、例えば住民ボランティア活動を活性化させることで地方公共団体の負担を軽減することも考えられますが、その人材も若い世代の減少により不足することになり、地域の運営が立ち行かなくなることが懸念されます。

この他、人口の減少は地域の商工業にも影響を与え、消費や雇用の場が地域から減少し、買い物をするにも働きに出るにも不便な生活しづらい地域となり、それにより地域に新しく転入してくる人も減ってさらに人口が減少するという悪循環をもたらすなど、様々な悪影響を将来の地域社会にもたらせることが懸念されます。

2. 人口の将来展望

ア. 将来展望に必要な調査・分析

(1) 出生率について

府中町のみならず、日本全体の人口を中長期的に維持させるためには、出生数を増加させることが不可欠です。現在の低出生率は、若い世代の希望通りの出産の結果ではありません。社人研の調査によれば、全国の希望する子ど�数、理想とする子ど�数ともに実際の出生率よりも高く、希望通りの出生数が実現できれば、出生率は1.8程度の水準まで向上することが見込まれています。さらに府中町が含まれる中国・四国地方は全国の値よりも高い状況にあるため、希望通りの出生数が実現できれば、人口の安定も期待できる水準になると考えられます。

図表 15：地域別にみた結婚の意向、希望・予定・理想子ど�数等

	出生動向基本調査（独身者調査）				出生動向基本調査（夫婦調査）		
	結婚意思あり		平均希望子ど�数		平均理想 子ど�数	平均予定 子ど�数	完結 出生児数
	（男性）	（女性）	（男性）	（女性）			
全国	86.3%	89.4%	2.04	2.12	2.42	2.07	1.96
北海道	85.2%	84.1%	2.03	2.07	2.33	1.97	1.81
東北	84.4%	89.8%	2.11	2.21	2.53	2.19	2.11
関東	85.6%	90.2%	2.02	2.07	2.33	1.97	1.84
中部・北陸	85.2%	88.8%	2.01	2.09	2.43	2.07	1.97
近畿	87.1%	89.0%	2.02	2.08	2.35	2.02	1.86
中国・四国	87.4%	92.0%	2.10	2.20	2.49	2.18	2.14
九州・沖縄	89.3%	87.9%	2.11	2.26	2.65	2.33	2.16

注) 社人研「第14回 出生動向基本調査」(平成22(2010)年)より。

国の「長期ビジョン」では、この希望実現を図ることで出生率を 2030 年（平成 42 年）に 1.80 程度まで向上し、2040 年（平成 52 年）に人口置換水準である 2.07 を達成することで、2060 年（平成 72 年）の総人口 1 億人程度を確保することを目指すこととしています。府中町で考えた場合、現状で全国の出生率よりも高い状況にあるため、国の長期ビジョンより 10 年早いペースでの出生率回復を目指すことが相応であると考えられます。

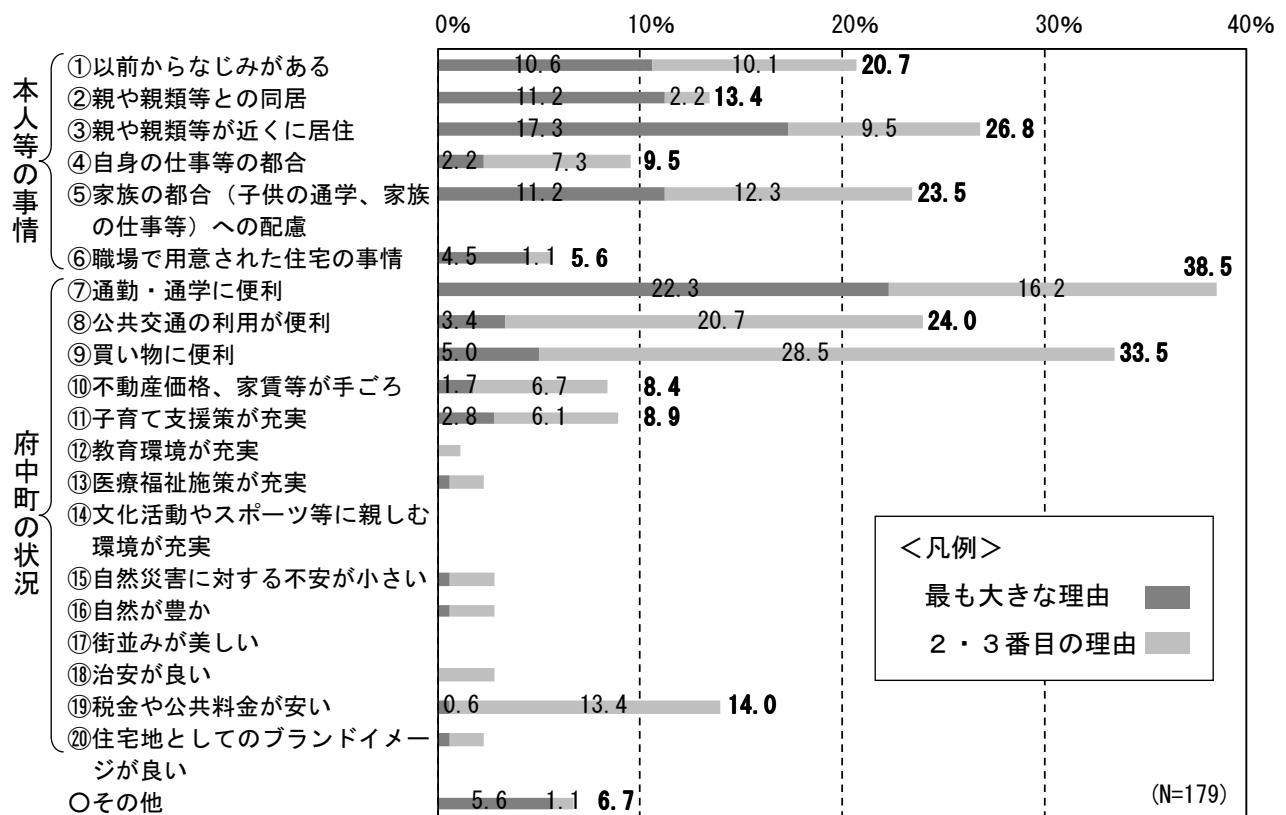
図表 16：目指すべき出生率回復ペース

	2013 年	2020 年	2030 年	2040 年	以降
全国	1.43	1.60 程度	1.80 程度	2.07 程度	→ 安定
府中町	(≈ 1.70)	1.80 程度	2.07 程度	2.30 程度	→ 安定

注) 全国は国の「長期ビジョン」（平成 26 年 12 月 17 日閣議決定）より。

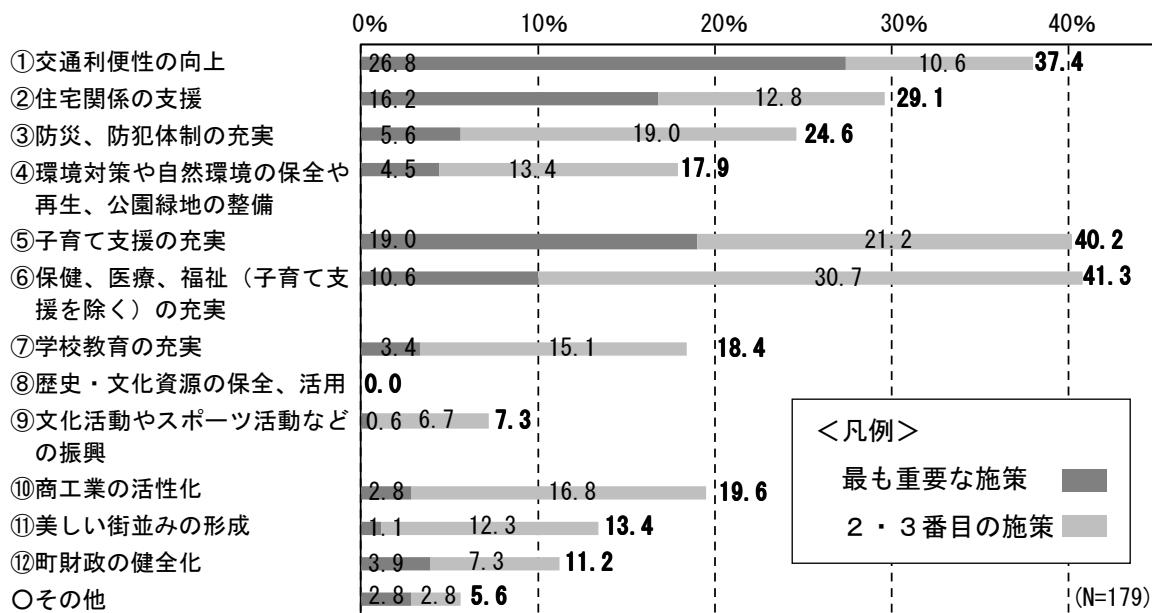
(2) 転入出について

最近 10 年以内に町外から府中町に引っ越してきた人へのアンケートでは、「引越し先を府中町に決めた理由」は、本人等の事情によるもの除去して府中町の状況によるものだけをみれば、「通勤・通学に便利」を最も大きな理由とする人が圧倒的に多い結果でした。次いで「買い物に便利」「公共交通の利用が便利」「子育て支援策が充実」が最も大きな理由とされており、利便性が圧倒的な理由とされる一方で、子育て支援を期待した転入者も若干いたという結果でした。



図表 17：引越し先を府中町に決めた理由

また、同じアンケートで聞いた「府中町に住み続けるために重要だと思う行政施策」は、「交通利便性の向上」を最も大きな理由とする人が多く、次いで「子育て支援の充実」が挙げられており、利便性向上が期待される一方で、子育て支援への期待も大きいと言えます。

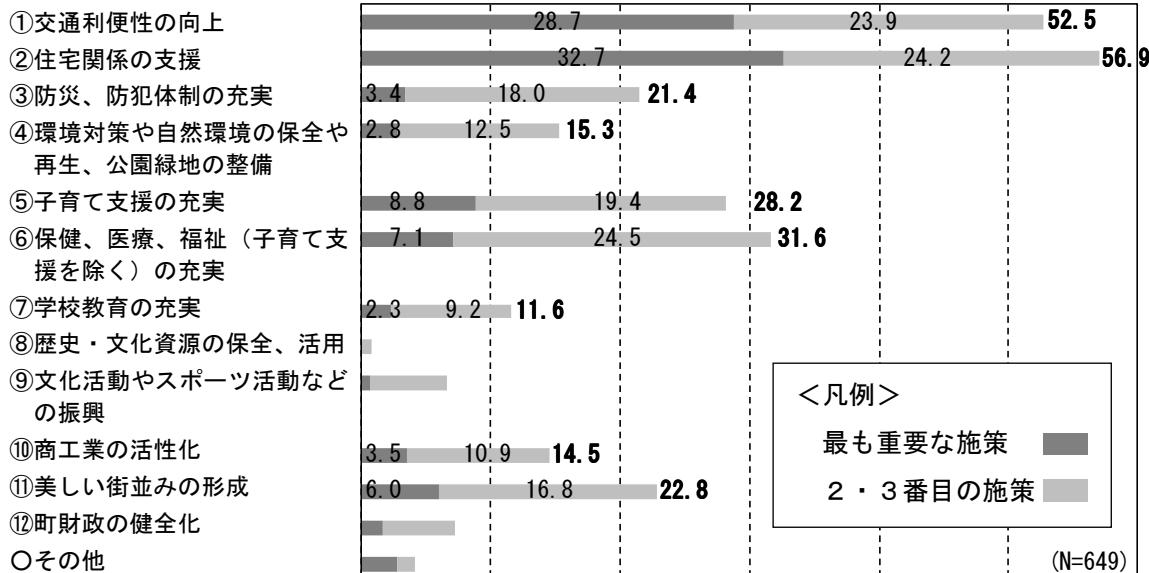


図表 18：府中町に住み続けるために重要だと思う行政施策

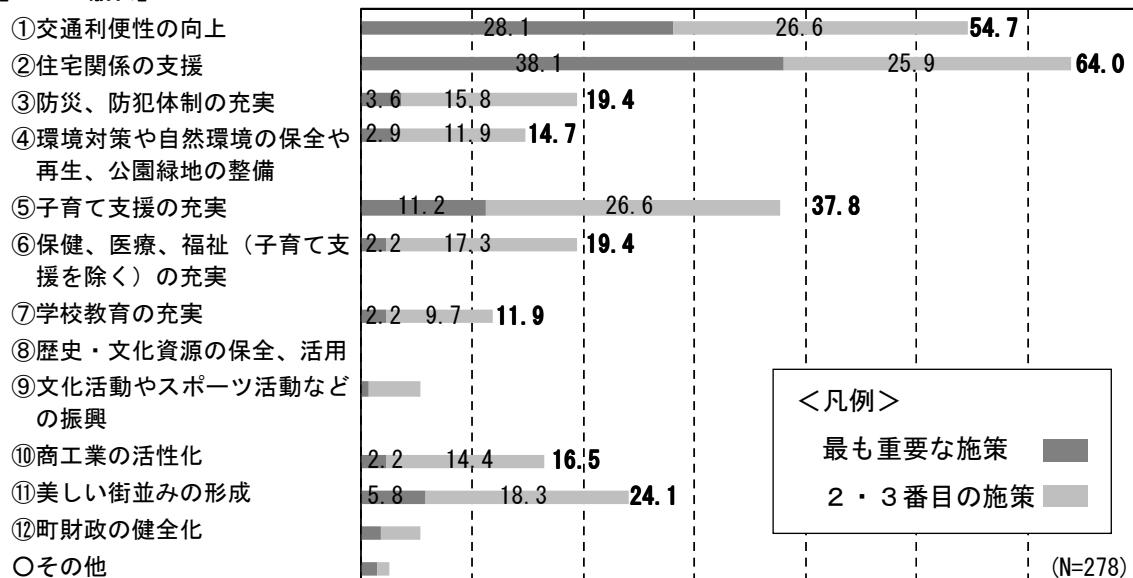
さらに、府中町内に通勤する町外居住者に「府中町への転入のきっかけになりそうな行政施策」を聞いたアンケートでは、「住宅関係の支援」、「交通利便性の向上」を最も大きな理由とする人が多く、次いで「子育て支援の充実」が挙げられています。この結果を20・30歳代の人だけみると、この3つの施策に対する重視がより鮮明に表れる結果となります。

「住宅関係の支援」への期待が大きいことは府中町の地価が高いことから生じたものと考えられ、住宅地としての府中町の環境が市場から評価された結果と前向きに捉えてこれを除いて考えれば、利便性向上と子育て支援が転入者の増加に対して有効な施策になると考えられます。

【全世代】



【20・30歳代】



図表 19：府中町への転入のきっかけになりそうな行政施策

これらのアンケート結果を踏まえると、府中町では利便性向上を図りつつ子育て支援に力を入れていくことで、転入者を増やし、転出者を減らすことができるものと考えられます。

イ. 目指すべき将来の方向

これまでみてきた府中町の将来人口を取り巻く状況を踏まえると、府中町の人口を将来も維持させるためには、現在大きな転入超過が見られる子育て世代の広島都市圏からの取り込みを強化し、結婚や子どもが大きくなつたことを契機とした住み替えにあたつて府中町を居住場所に選択してもらえるような状況をつくり出すことが最も有効であると考えられます。

東京等大都市圏への転出超過を縮小させることも大きな課題ではあります、国が実施した東京在住者アンケートからみても、スローライフ実現などが移住希望の理由となっており、府中町よりも遙かに自然が豊かな他の地域が東京からの移住者の受け入れに取り組んでいる現状を踏まえると、東京からの移住者で府中町の人口維持を図ることは難しいものと考えられます。また、進学したい大学があること等が東京転出の理由であることから、府中町が東京以上に様々な大学を揃えるなどして転出を防ぐことは現実的ではないだろうと考えられます。

図表 20：東京都以外の地域への移住をしたいと考える理由の上位 5 件

理由	回答割合
出身地であるから	37.9%
スローライフを実現したいから	36.9%
食べ物や水、空気が美味しいから	29.9%
家族・親戚・知人など親しい人がいるから	27.7%
自分に合った生活スタイルを送りたいから	24.0%

注)「東京在住者の今後の移住に関する意向調査報告書」(平成 26 年 9 月 17 日内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局) より。

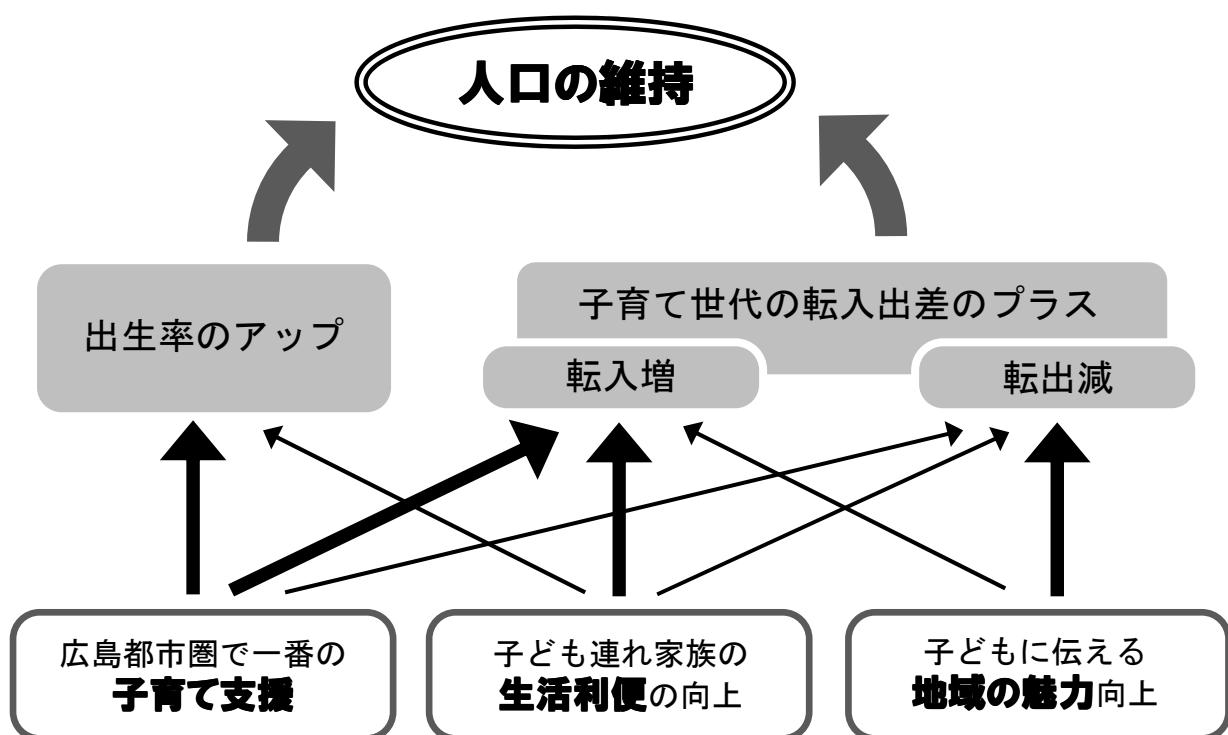
図表 21：東京に上京するときに考えていた目的や理由の上位 5 件

理由	回答割合
東京に進学したい大学や専門学校があったから	27.6%
交通の便が良いと思ったから	19.8%
新しい生活を始めたいと思ったから	19.2%
日常生活が便利そうだと思ったから	18.6%
都会に憧れがあったから	17.6%

注)「東京在住者の今後の移住に関する意向調査報告書」(平成 26 年 9 月 17 日内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局) より。

一方で既にその傾向がみられる広島都市圏内からの子育て世代の転入を拡大させる方向での施策展開は、現実的であるとともに効果的であると考えられます。

このため、府中町では「子育て世代が居住を選択するまち」を目指すことをします。まず、「広島都市圏で一番の子育て支援」の実現を目指すことで、主に出生率のアップと、子育て世代の転入増を図ります。また、「子ども連れ家族の生活利便の向上」を図ることでも子育て世代の転入増を期待できます。さらに、「子どもに伝える地域の魅力向上」により、子育て世代の転出減を図ります。この3つの施策の展開により「子育て世代が居住を選択するまち」となり、人口の維持を図ることが府中町の目指すべき将来の方向です。

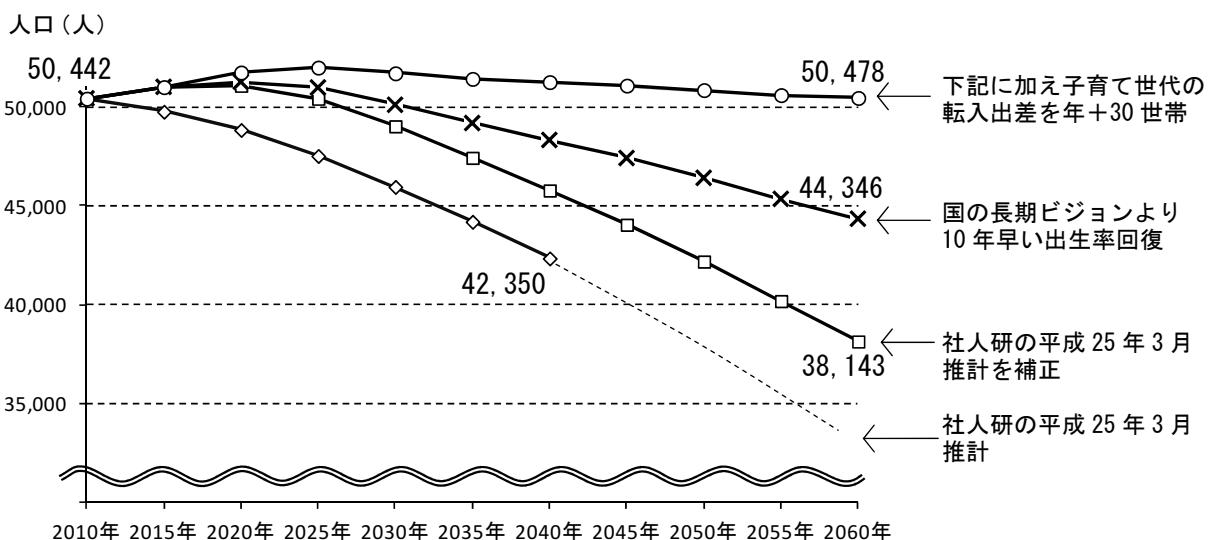


図表 22：府中町の目指すべき将来の方向

ウ. 人口の将来展望

「子育て世代が居住を選択するまち」を目指すことにより、中長期的に減少するとされる府中町の人口推計の改善を見込むことができます。まず、出生率については、府中町が展開する施策に加え、国による施策効果も期待されるため、先述の「国の長期ビジョンより 10 年早いペースでの出生率回復」の実現を目指します。これにより人口減少は緩やかになりますが、依然として減少傾向が続く予測となり、2060 年（平成 72 年）で 44,346 人と予想されます。

出生率の向上に加えて、「子育て世代の転入出差年間+30 世帯」とすれば、人口はほぼ横ばいで推移することとなり、2060 年（平成 72 年）も 50,478 人となり、5 万人の現状を維持することができることになります。



	2010 年	2015 年	2020 年	2025 年	2030 年	2035 年	2040 年	2045 年	2050 年	2055 年	2060 年
下記に加え子育て世代の転入出差年間+30 世帯(※3)	50,442	51,026	51,766	52,015	51,726	51,444	51,281	51,104	50,875	50,621	50,478
国の長期ビジョンより 10 年早い出生率回復(※2)	50,442	51,026	51,280	50,993	50,117	49,192	48,335	47,418	46,417	45,352	44,346
社人研の平成 25 年 3 月推計を補正(※1)	50,442	51,026	51,097	50,439	49,040	47,443	45,791	44,056	42,190	40,188	38,143
社人研の平成 25 年 3 月推計	50,442	49,779	48,855	47,538	45,971	44,203	42,350	—	—	—	—

※ 1 : 図表 12 の注書きと同様の補正。

※ 2 : 図表 16 に示したペースで出生率が回復すると仮定して算出した。

※ 3 : 子育て世代（20～39 歳の夫婦と子ども 1 人の世帯（転入後に子どもを産む夫婦のみ世帯、子どもを複数持つて転入する世帯など、様々な世帯の転入が想定されるが、ここでは子ども 1 人の世帯を平均像と仮定した。））が毎年 +30 世帯になると仮定して算出した。

図表 23 : 府中町の人口の将来展望

「国の長期ビジョンより10年早いペースでの出生率回復」と、「子育て世代の転入出差年間+30世帯」を実現することは、府中町にとって決して容易なことではありません。一方で、全く実現性の見込みがないわけではなく、希望の持てる目標です。人口動向は経済情勢などに大きく影響を受ける性格でありますから、短期的には厳しい現象に直面することになる可能性も十分にあると言えます。しかし、目の前の現象に一喜一憂したり、過ぎた悲観論や楽観論に陥ることなく、将来を正面から見据え、ぶれることなく「子育て世代が居住を選択するまち」の実現に取り組んでいくことで、府中町の未来を変えることができます。そのためには、このビジョンを行政と住民や事業者ほか各種団体が共有し、関係者が一丸となって取り組むことが必要であり、これにより府中町の明るい未来を切り開いていくことができると言えます。

(参考1)何も対策を講じなかった場合の人口推計

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
出生率(補正)*1	A	1.700000 00000000	1.667396 26189656	1.640139 84483822	1.641828 07595716	1.644418 17984449	1.644858 01546544	1.644858 01546544	1.644858 01546544	1.644858 01546544
換算率*2	B	7.194760 76769611	7.552384 75611757	7.437758 02986399	7.258674 53320814	7.101198 50510830	7.078307 21823296	7.185480 81759652	7.351088 09195126	7.489236 67412977
子ども女性比率	C=A÷B	0.236283...	0.220777...	0.220515...	0.226188...	0.231569...	0.232380...	0.228914...	0.223757...	0.219630...

*1:「出生率(補正)」は、「出生率(元)」に(+0.19989237993536)を加算。

*2:「換算率」は、「日本の将来人口推計(平成24年1月推計)」の「出生中位・死亡中位」での合計特殊出生率(5年平均)を子ども女性比率で除した値。

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
総人口(人)	50,442	51,026	51,097	50,439	49,040	47,443	45,791	44,056	42,190	40,188	38,143
男0～4歳	1,266	1,341	1,185	1,082	1,050	1,019	983	931	863	809	776
男5～9歳	1,313	1,251	1,328	1,168	1,058	1,027	996	960	910	844	791
男10～14歳	1,381	1,335	1,266	1,338	1,166	1,056	1,025	995	959	908	842
男15～19歳	1,283	1,316	1,291	1,216	1,273	1,110	1,005	976	947	913	864
男20～24歳	1,096	1,126	1,213	1,183	1,104	1,154	1,006	911	884	858	827
男25～29歳	1,433	1,260	1,254	1,336	1,292	1,207	1,263	1,101	997	968	939
男30～34歳	1,779	1,550	1,342	1,329	1,399	1,351	1,262	1,321	1,152	1,043	1,012
男35～39歳	2,131	1,798	1,563	1,347	1,322	1,392	1,344	1,255	1,314	1,146	1,037
男40～44歳	1,877	2,084	1,768	1,530	1,307	1,283	1,351	1,304	1,218	1,275	1,111
男45～49歳	1,791	1,802	2,021	1,706	1,463	1,250	1,228	1,293	1,248	1,166	1,220
男50～54歳	1,481	1,709	1,737	1,939	1,623	1,393	1,190	1,169	1,231	1,188	1,110
男55～59歳	1,614	1,429	1,657	1,678	1,857	1,555	1,335	1,141	1,121	1,180	1,139
男60～64歳	1,843	1,532	1,365	1,577	1,584	1,755	1,471	1,263	1,080	1,060	1,117
男65～69歳	1,480	1,728	1,444	1,284	1,472	1,481	1,642	1,376	1,182	1,010	992
男70～74歳	1,154	1,364	1,601	1,333	1,177	1,354	1,366	1,514	1,269	1,090	932
男75～79歳	881	997	1,188	1,401	1,157	1,029	1,190	1,200	1,331	1,115	958
男80～84歳	521	695	795	952	1,128	935	840	971	980	1,086	910
男85～89歳	206	322	451	523	627	763	636	571	660	666	739
男90歳以上	102	142	219	317	392	483	614	616	585	614	631
女0～4歳	1,179	1,272	1,124	1,027	997	967	932	883	819	767	737
女5～9歳	1,202	1,157	1,254	1,103	999	970	941	907	859	797	747
女10～14歳	1,298	1,197	1,154	1,245	1,085	983	954	926	892	845	784
女15～19歳	1,223	1,260	1,174	1,125	1,202	1,048	949	921	893	861	816
女20～24歳	1,161	1,152	1,223	1,134	1,077	1,150	1,002	907	880	854	823
女25～29歳	1,473	1,290	1,255	1,322	1,218	1,156	1,234	1,075	973	945	916
女30～34歳	1,754	1,576	1,360	1,319	1,374	1,267	1,202	1,283	1,118	1,012	982
女35～39歳	2,134	1,766	1,584	1,362	1,308	1,363	1,257	1,192	1,272	1,109	1,004
女40～44歳	1,914	2,124	1,759	1,571	1,339	1,286	1,340	1,236	1,172	1,251	1,090
女45～49歳	1,769	1,888	2,102	1,732	1,533	1,307	1,256	1,309	1,207	1,145	1,222
女50～54歳	1,526	1,730	1,856	2,056	1,680	1,487	1,268	1,218	1,269	1,171	1,110
女55～59歳	1,584	1,502	1,708	1,823	2,002	1,636	1,448	1,235	1,187	1,237	1,140
女60～64歳	1,882	1,556	1,479	1,674	1,772	1,946	1,591	1,409	1,201	1,154	1,203
女65～69歳	1,664	1,839	1,522	1,441	1,617	1,713	1,883	1,539	1,363	1,162	1,117
女70～74歳	1,312	1,595	1,772	1,459	1,370	1,541	1,634	1,795	1,468	1,300	1,108
女75～79歳	1,089	1,242	1,515	1,682	1,373	1,294	1,458	1,546	1,699	1,389	1,230
女80～84歳	800	955	1,107	1,351	1,497	1,224	1,159	1,306	1,385	1,523	1,245
女85～89歳	501	652	790	921	1,123	1,263	1,035	980	1,104	1,171	1,287
女90歳以上	345	494	671	855	1,023	1,248	1,504	1,521	1,498	1,559	1,636

注)2010年は平成22年国勢調査の値。2015年以降は下記の通り算出。

5～89歳: (5年前の5歳若い区分の同性人口) × (「生残率」+「純移動率」)

90歳以上: (5年前の「85～89歳」と「90歳以上」の同性人口の合計) × (「生残率」+「純移動率」)

男0～4歳: (その年の「15～49歳」の女性人口) × (「子ども女性比率」) × (「0～4歳性比」) ÷ (「0～4歳性比」+100)

女0～4歳: (その年の「15～49歳」の女性人口) × (「子ども女性比率」) × 100 ÷ (「0～4歳性比」+100)

(参考2)「国の長期ビジョンより10年早いペースでの出生率回復」と「子育て世代の転入出差年間+30世帯」を実現した場合の人口推計

		2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
出生率(国より10年早い回復)*1	A	1.7000000000000000	1.8000000000000000	1.9300000000000000	2.0700000000000000	2.2000000000000000	2.3000000000000000	2.3000000000000000	2.3000000000000000	2.3000000000000000	2.3000000000000000
換算率 *2	B	7.19476076769611	7.55238475611757	7.43775802986399	7.25867453320814	7.10119850510830	7.07830721823296	7.18548081759652	7.35108809195126	7.48923667412977	7.45085702694893
子ども女性比率	C=A÷B	0.236283...	0.238335...	0.259487...	0.285176...	0.309807...	0.324936...	0.320090...	0.312879...	0.307107...	0.308689...

*1:「出生率(国より10年早い回復)」は、2020年を1.80、2030年を2.07、2040年を2.30、以降安定すると仮定して、中間年の値を適宜設定。

*2:「換算率」は、「日本の将来人口推計(平成24年1月推計)」の「出生中位・死亡中位」での合計特殊出生率(5年平均)を子ども女性比率で除した値。

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
総人口(人)	50,442	51,026	51,766	52,015	51,726	51,444	51,281	51,104	50,875	50,621	50,478
男0～4歳	1,266	1,341	1,342	1,359	1,441	1,531	1,605	1,597	1,576	1,587	1,644
男5～9歳	1,313	1,251	1,358	1,354	1,358	1,438	1,526	1,599	1,591	1,570	1,581
男10～14歳	1,381	1,335	1,266	1,368	1,351	1,356	1,436	1,524	1,596	1,589	1,568
男15～19歳	1,283	1,316	1,291	1,216	1,302	1,286	1,291	1,367	1,450	1,519	1,512
男20～24歳	1,096	1,126	1,250	1,221	1,141	1,218	1,203	1,207	1,276	1,352	1,414
男25～29歳	1,433	1,260	1,291	1,415	1,370	1,285	1,370	1,354	1,359	1,434	1,517
男30～34歳	1,779	1,550	1,379	1,406	1,519	1,470	1,382	1,471	1,454	1,459	1,537
男35～39歳	2,131	1,798	1,601	1,422	1,436	1,549	1,500	1,412	1,500	1,484	1,488
男40～44歳	1,877	2,084	1,768	1,567	1,379	1,393	1,503	1,455	1,370	1,456	1,440
男45～49歳	1,791	1,802	2,021	1,706	1,498	1,320	1,334	1,438	1,393	1,311	1,393
男50～54歳	1,481	1,709	1,737	1,939	1,623	1,426	1,257	1,270	1,369	1,326	1,248
男55～59歳	1,614	1,429	1,657	1,678	1,857	1,555	1,367	1,205	1,218	1,313	1,272
男60～64歳	1,843	1,532	1,365	1,577	1,584	1,755	1,471	1,294	1,140	1,152	1,242
男65～69歳	1,480	1,728	1,444	1,284	1,472	1,481	1,642	1,376	1,211	1,067	1,078
男70～74歳	1,154	1,364	1,601	1,333	1,177	1,354	1,366	1,514	1,269	1,116	984
男75～79歳	881	997	1,188	1,401	1,157	1,029	1,190	1,200	1,331	1,115	981
男80～84歳	521	695	795	952	1,128	935	840	971	980	1,086	910
男85～89歳	206	322	451	523	627	763	636	571	660	666	739
男90歳以上	102	142	219	317	392	483	614	616	585	614	631
女0～4歳	1,179	1,272	1,276	1,292	1,369	1,455	1,525	1,518	1,497	1,508	1,562
女5～9歳	1,202	1,157	1,284	1,282	1,287	1,362	1,445	1,513	1,507	1,486	1,497
女10～14歳	1,298	1,197	1,154	1,275	1,261	1,266	1,340	1,422	1,489	1,482	1,463
女15～19歳	1,223	1,260	1,174	1,125	1,231	1,218	1,222	1,293	1,373	1,437	1,431
女20～24歳	1,161	1,152	1,260	1,172	1,114	1,215	1,202	1,206	1,274	1,350	1,412
女25～29歳	1,473	1,290	1,292	1,400	1,296	1,234	1,341	1,327	1,331	1,405	1,486
女30～34歳	1,754	1,576	1,398	1,396	1,492	1,385	1,320	1,432	1,417	1,422	1,498
女35～39歳	2,134	1,766	1,621	1,437	1,422	1,518	1,412	1,347	1,458	1,444	1,448
女40～44歳	1,914	2,124	1,759	1,608	1,412	1,398	1,493	1,388	1,325	1,434	1,420
女45～49歳	1,769	1,888	2,102	1,732	1,569	1,379	1,365	1,458	1,356	1,293	1,400
女50～54歳	1,526	1,730	1,856	2,056	1,680	1,522	1,337	1,324	1,414	1,315	1,255
女55～59歳	1,584	1,502	1,708	1,823	2,002	1,636	1,483	1,303	1,290	1,377	1,281
女60～64歳	1,882	1,556	1,479	1,674	1,772	1,946	1,591	1,442	1,267	1,255	1,340
女65～69歳	1,664	1,839	1,522	1,441	1,617	1,713	1,883	1,539	1,395	1,226	1,214
女70～74歳	1,312	1,595	1,772	1,459	1,370	1,541	1,634	1,795	1,468	1,330	1,169
女75～79歳	1,089	1,242	1,515	1,682	1,373	1,294	1,458	1,546	1,699	1,389	1,259
女80～84歳	800	955	1,107	1,351	1,497	1,224	1,159	1,306	1,385	1,523	1,245
女85～89歳	501	652	790	921	1,123	1,263	1,035	980	1,104	1,171	1,287
女90歳以上	345	494	671	855	1,023	1,248	1,504	1,521	1,498	1,559	1,636

注)2010年は平成22年国勢調査の値。2015年以降は下記の通り算出するが、その際2020年以降については下表の値を加算して算出。

5～89歳: (5年前の5歳若い区分の同性人口) × (「生残率」+「純移動率」)

90歳以上: (5年前の「85～89歳」と「90歳以上」の同性人口の合計) × (「生残率」+「純移動率」)

男0～4歳: (その年の「15～49歳」の女性人口) × (「子ども女性比率」) × (「0～4歳性比」) ÷ (「0～4歳性比」+100)

女0～4歳: (その年の「15～49歳」の女性人口) × (「子ども女性比率」) × 100 ÷ (「0～4歳性比」+100)

男0～4歳	45.0
男5～9歳	30.0
男20～24歳	37.5
男25～29歳	37.5
男30～34歳	37.5
男35～39歳	37.5

女0～4歳	45.0
女5～9歳	30.0
女20～24歳	37.5
女25～29歳	37.5
女30～34歳	37.5
女35～39歳	37.5

※これにより、5年間で父150人、母150人、子150人の150世帯、つまり年間30世帯の転入加算に相当。

(参考3) 人口推計に用いた各種基礎率

生残率

	2010→15年	2015→20年	2020→25年	2025→30年	2030→35年	2035→40年	2040→45年	2045→50年	2050→55年	2055→60年
	社人研推計値	社人研推計値	社人研推計値	社人研推計値	社人研推計値	社人研推計値	2035→40年の 社人研推計値	2035→40年の 社人研推計値	2035→40年の 社人研推計値	2035→40年の 社人研推計値
男0～4歳→5～9歳	0.99922	0.99933	0.99940	0.99946	0.99951	0.99956	0.99956	0.99956	0.99956	0.99956
男5～9歳→10～14歳	0.99955	0.99961	0.99965	0.99968	0.99970	0.99972	0.99972	0.99972	0.99972	0.99972
男10～4歳→15～19歳	0.99914	0.99923	0.99929	0.99934	0.99939	0.99942	0.99942	0.99942	0.99942	0.99942
男15～19歳→20～24歳	0.99767	0.99784	0.99797	0.99809	0.99819	0.99828	0.99828	0.99828	0.99828	0.99828
男20～24歳→25～29歳	0.99690	0.99705	0.99717	0.99729	0.99739	0.99748	0.99748	0.99748	0.99748	0.99748
男25～29歳→30～34歳	0.99681	0.99695	0.99705	0.99714	0.99722	0.99729	0.99729	0.99729	0.99729	0.99729
男30～34歳→35～39歳	0.99593	0.99613	0.99629	0.99643	0.99654	0.99665	0.99665	0.99665	0.99665	0.99665
男35～39歳→40～44歳	0.99367	0.99402	0.99430	0.99454	0.99477	0.99496	0.99496	0.99496	0.99496	0.99496
男40～44歳→45～49歳	0.99011	0.99068	0.99114	0.99155	0.99191	0.99223	0.99223	0.99223	0.99223	0.99223
男45～49歳→50～54歳	0.98431	0.98519	0.98591	0.98654	0.98710	0.98761	0.98761	0.98761	0.98761	0.98761
男50～54歳→55～59歳	0.97612	0.97741	0.97844	0.97934	0.98014	0.98084	0.98084	0.98084	0.98084	0.98084
男55～59歳→60～64歳	0.96410	0.96593	0.96736	0.96861	0.96969	0.97064	0.97064	0.97064	0.97064	0.97064
男60～64歳→65～69歳	0.94918	0.95174	0.95370	0.95540	0.95689	0.95819	0.95819	0.95819	0.95819	0.95819
男65～69歳→70～74歳	0.91599	0.92027	0.92356	0.92639	0.92885	0.93100	0.93100	0.93100	0.93100	0.93100
男70～74歳→75～79歳	0.86203	0.87021	0.87660	0.88209	0.88682	0.89093	0.89093	0.89093	0.89093	0.89093
男75～79歳→80～84歳	0.77562	0.78877	0.79909	0.80808	0.81593	0.82282	0.82282	0.82282	0.82282	0.82282
男80～84歳→85～89歳	0.66070	0.67985	0.69483	0.70799	0.71960	0.72986	0.72986	0.72986	0.72986	0.72986
男85歳以上→90歳以上	0.40404	0.42034	0.43353	0.44533	0.45590	0.46538	0.46538	0.46538	0.46538	0.46538
女0～4歳→5～9歳	0.99913	0.99924	0.99931	0.99938	0.99943	0.99949	0.99949	0.99949	0.99949	0.99949
女5～9歳→10～14歳	0.99968	0.99971	0.99973	0.99975	0.99977	0.99979	0.99979	0.99979	0.99979	0.99979
女10～4歳→15～19歳	0.99959	0.99962	0.99964	0.99966	0.99967	0.99968	0.99968	0.99968	0.99968	0.99968
女15～19歳→20～24歳	0.99910	0.99914	0.99916	0.99919	0.99921	0.99922	0.99922	0.99922	0.99922	0.99922
女20～24歳→25～29歳	0.99885	0.99889	0.99893	0.99896	0.99898	0.99900	0.99900	0.99900	0.99900	0.99900
女25～29歳→30～34歳	0.99847	0.99855	0.99861	0.99866	0.99871	0.99875	0.99875	0.99875	0.99875	0.99875
女30～34歳→35～39歳	0.99774	0.99787	0.99797	0.99806	0.99814	0.99821	0.99821	0.99821	0.99821	0.99821
女35～39歳→40～44歳	0.99692	0.99709	0.99722	0.99732	0.99741	0.99749	0.99749	0.99749	0.99749	0.99749
女40～44歳→45～49歳	0.99517	0.99544	0.99565	0.99584	0.99599	0.99613	0.99613	0.99613	0.99613	0.99613
女45～49歳→50～54歳	0.99233	0.99277	0.99312	0.99342	0.99369	0.99392	0.99392	0.99392	0.99392	0.99392
女50～54歳→55～59歳	0.98957	0.99011	0.99053	0.99089	0.99119	0.99146	0.99146	0.99146	0.99146	0.99146
女55～59歳→60～64歳	0.98544	0.98616	0.98671	0.98718	0.98758	0.98792	0.98792	0.98792	0.98792	0.98792
女60～64歳→65～69歳	0.97502	0.97619	0.97707	0.97784	0.97851	0.97908	0.97908	0.97908	0.97908	0.97908
女65～69歳→70～74歳	0.96140	0.96346	0.96506	0.96643	0.96761	0.96864	0.96864	0.96864	0.96864	0.96864
女70～74歳→75～79歳	0.94079	0.94490	0.94808	0.95079	0.95311	0.95511	0.95511	0.95511	0.95511	0.95511
女75～79歳→80～84歳	0.89467	0.90274	0.90894	0.91422	0.91874	0.92264	0.92264	0.92264	0.92264	0.92264
女80～84歳→85～89歳	0.80646	0.82120	0.83239	0.84185	0.84985	0.85664	0.85664	0.85664	0.85664	0.85664
女85歳以上→90歳以上	0.50336	0.51895	0.53137	0.54229	0.55191	0.56040	0.56040	0.56040	0.56040	0.56040

純移動率

	2010→15年	2015→20年	2020→25年	2025→30年	2030→35年	2035→40年	2040→45年	2045→50年	2050→55年	2055→60年
	社人研推計値 +(0.0178311 85638×1.0)	社人研推計値 +(0.0178311 85638×0.8)	社人研推計値 +(0.0178311 85638×0.5)	社人研推計値	社人研推計値	社人研推計値	2035→40年の 社人研推計値	2035→40年の 社人研推計値	2035→40年の 社人研推計値	2035→40年の 社人研推計値
男0～4歳→5～9歳	-0.01098...	-0.00854...	-0.01328...	-0.02213	-0.02213	-0.02217	-0.02217	-0.02217	-0.02217	-0.02217
男5～9歳→10～14歳	0.01735...	0.01201...	0.00751...	-0.00121	-0.00117	-0.00123	-0.00123	-0.00123	-0.00123	-0.00123
男10～4歳→15～19歳	-0.04623...	-0.03266...	-0.03813...	-0.04746	-0.04751	-0.04771	-0.04771	-0.04771	-0.04771	-0.04771
男15～19歳→20～24歳	-0.12020...	-0.07612...	-0.08109...	-0.09073	-0.09189	-0.09227	-0.09227	-0.09227	-0.09227	-0.09227
男20～24歳→25～29歳	0.15248...	0.11667...	0.10462...	0.09445	0.09574	0.09705	0.09705	0.09705	0.09705	0.09705
男25～29歳→30～34歳	0.08518...	0.06807...	0.06270...	0.04986	0.04850	0.04878	0.04878	0.04878	0.04878	0.04878
男30～34歳→35～39歳	0.01485...	0.01203...	0.00766...	-0.00166	-0.00176	-0.00201	-0.00201	-0.00201	-0.00201	-0.00201
男35～39歳→40～44歳	-0.01556...	-0.01066...	-0.01546...	-0.02452	-0.02465	-0.02470	-0.02470	-0.02470	-0.02470	-0.02470
男40～44歳→45～49歳	-0.03024...	-0.02088...	-0.02620...	-0.03514	-0.03520	-0.03514	-0.03514	-0.03514	-0.03514	-0.03514
男45～49歳→50～54歳	-0.03032...	-0.02100...	-0.02647...	-0.03552	-0.03547	-0.03549	-0.03549	-0.03549	-0.03549	-0.03549
男50～54歳→55～59歳	-0.01105...	-0.00762...	-0.01276...	-0.02192	-0.02202	-0.02189	-0.02189	-0.02189	-0.02189	-0.02189
男55～59歳→60～64歳	-0.01510...	-0.01064...	-0.01546...	-0.02421	-0.02453	-0.02457	-0.02457	-0.02457	-0.02457	-0.02457
男60～64歳→65～69歳	-0.01162...	-0.00879...	-0.01359...	-0.02219	-0.02201	-0.02244	-0.02244	-0.02244	-0.02244	-0.02244
男65～69歳→70～74歳	0.00555...	0.00613...	-0.00092...	-0.00936	-0.00903	-0.00878	-0.00878	-0.00878	-0.00878	-0.00878
男70～74歳→75～79歳	0.00179...	0.00109...	-0.00148...	-0.01355	-0.01271	-0.01224	-0.01224	-0.01224	-0.01224	-0.01224
男75～79歳→80～84歳	0.01279...	0.00890...	0.00162...	-0.00310	-0.00801	-0.00665	-0.00665	-0.00665	-0.00665	-0.00665
男80～84歳→85～89歳	-0.04341...	-0.03048...	-0.03762...	-0.04878	-0.04325	-0.04974	-0.04974	-0.04974	-0.04974	-0.04974
男85歳以上→90歳以上	0.05565...	0.05290...	0.03927...	0.02149	0.01827	0.02755	0.02755	0.02755	0.02755	0.02755
女0～4歳→5～9歳	-0.01764...	-0.01290...	-0.01778...	-0.02658	-0.02657	-0.02663	-0.02663	-0.02663	-0.02663	-0.02663
女5～9歳→10～14歳	-0.00350...	-0.00257...	-0.00720...	-0.01591	-0.01588	-0.01592	-0.01592	-0.01592	-0.01592	-0.01592
女10～4歳→15～19歳	-0.02921...	-0.01955...	-0.02501...	-0.03416	-0.03417	-0.03441	-0.03441	-0.03441	-0.03441	-0.03441
女15～19歳→20～24歳	-0.05679...	-0.02841...	-0.03272...	-0.04190	-0.04278	-0.04319	-0.04319	-0.04319	-0.04319	-0.04319
女20～24歳→25～29歳	0.11228...	0.08993...	0.08198...	0.07499	0.07479	0.07405	0.07405	0.07405	0.07405	0.07405
女25～29歳→30～34歳	0.07144...	0.05593...	0.05226...	0.04080	0.04148	0.04099	0.04099	0.04099	0.04099	0.04099
女30～34歳→35～39歳	0.00909...	0.00707...	0.00302...	-0.00586	-0.00595	-0.00614	-0.00614	-0.00614	-0.00614	-0.00614
女35～39歳→40～44歳	-0.00156...	-0.00083...	-0.00542...	-0.01423	-0.01417	-0.01416	-0.01416	-0.01416	-0.01416	-0.01416
女40～44歳→45～49歳	-0.00894...	-0.00583...	-0.01095...	-0.01983	-0.01983	-0.01978	-0.01978	-0.01978	-0.01978	-0.01978
女45～49歳→50～54歳	-0.01418...	-0.00953...	-0.01492...	-0.02384	-0.02383	-0.02385	-0.02385	-0.02385	-0.02385	-0.02385
女50～54歳→55～59歳	-0.00532...	-0.00316...	-0.00838...	-0.01737	-0.01741	-0.01738	-0.01738	-0.01738	-0.	